

利用ソフトウェア		エクセル統計	
授業名	多変量解析,経営データ解析(A・B) シミュレーション論,専門演習	名前	藤井 孝宗

現在、情報処理関連の実習科目である経営学部の多変量解析・経営データ解析(A・B)・シミュレーション論の各科目及び専門演習において、情報処理室を利用している。これらの科目では、エクセルに加え、エクセルに統計処理・統計分析の機能を追加するアドインソフトである「エクセル統計」というソフトを利用している。

担当している科目は基本的にはエクセルを用いた統計処理、統計分析に関する科目であるが、エクセルに初めから付属しているアドインソフト(分析ツール)では簡単な相関分析や単純な線形回帰分析程度しか出来ないため、講義で紹介する他の分析手法、たとえば非線形やバイナリー・データの回帰分析や、主成分分析・因子分析、判別分析、クラスター分析などを実際にやってみるためにはさらに上位の統計解析ソフトが必要となる。

統計分析を行うための統計解析ソフトは、SPSS,SAS,STATA,EViewsなど様々なものが開発、販売されているが、どのソフトも高価である上、高度かつ専門的であるため(日本語ではないものも多い)、パソコンにあまり慣れていない学部学生が利用するにはやや難しい。

最近の学部学生はインターネットの普及によりパソコンに対する抵抗感はかなり少なく、インターネットブラウザやメー

ラー、ワープロソフトは日常的に利用しているものの、エクセルなどの統計ソフトについては立ち上げたこともない学生の方が圧倒的に多い。その点を考えると、大学を卒業した後に自分で購入して使うことなどないであろう高価で専門的な統計ソフトを使って演習を行うよりも、仕事で使う可能性のあるエクセルに習熟しつつさらに高度な統計分析も行うことが出来る、エクセルの延長線上にあるアドインソフトを購入、利用した方が学生のためにも良いと考えられる。そのため、エクセル統計の導入を検討していただいた。

本年度の前期科目(多変量解析)においては、どちらかというと理論分析の紹介が多くなったためあまり実習課題を出すことが出来ず、エクセル統計の機能を十分生かしたとは言いがたいが、後期には実習科目である経営データ解析A・B、シミュレーション論があるため、特にある程度複雑な回帰分析の実習や主成分分析・因子分析の演習に活用する予定である。また専門演習においても、3年生は前期までに簡単な回帰分析はすでに出来るようになっているので、後期にはより複雑かつ実践的な統計分析に取り組んでもらう予定である。4年生は卒論作成の必要があるため、エクセル統計の機能をフル活用してくれるはずである。